



# NiFA NEWS

謹賀新年

“サッカーファミリーと心をひとつに”

# 挑戦・更なる飛躍!



公益財団法人 日本サッカー協会  
会長 田嶋 幸三

新潟県のサッカーファミリーの皆さま、新年いかがお過ごしでしょうか。 AFC 選手権で優勝し、リオデジャネイロオリンピックに出場した U-23 日本代表もそうですが、鹿島も異次元の戦いを重ねる中で着実に成長しました。これは、国際レベルでの真剣勝負だからこそ得られた成果にほかなりません。今後は、日常のリーグ戦をどう変えていくかが大きなカギになります。当然、国内での勝ち負けだけにこだわっているようでは決して世界基準には到達していきません。それは、リーグだけでなく、大学サッカーや高円宮杯などの若年層の大会、ト

「世界基準」「育成日本復活」「女子サッカーの振興」「47 F A の自立的発展」といった指針を掲げて会長に就任し、もうすぐ一年が経とうとしています。進行度合いは施策毎に異なるものの、多くの皆さまのご理解の下、順調に歩みを進めているのではないかと思います。 昨年末に開催された F I F A クラブワールドカップは、鹿島アントラーズがオセアニア、アフリカ、南米の大陸王者を破る快進撃を見せ、アジア勢初の決勝進出を果たしました。欧州王者 U 回を誇るレアル・マドリッドを相手に激闘を演じ、延長戦に持ち込む展開に、残念ながら 4-2 で敗れましたが、近い将来、J クラブや日本代表が世界大会で優勝できる日が来るのではないかと考えるような素晴らしい戦いを見せてくれました。



一般社団法人 新潟県サッカー協会  
会長 柄沢 正三

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては佳い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。 ご挨拶に先立ち、昨年末に糸魚川市で起きた甚大な被害をもたらしました。翌日、現地に立ち寄り状況を確認いたしました。損害の大きさに愕然とするのみにごさいます。被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

さて、当協会は理事及び専門委員会等の委員の皆様、連盟・地区協会の役員並びに委員等多くの皆様のご尽力により事業を遂行してまいりました。また、多くのサッカーファミリーの皆様のご支援ご協力を得て、事業の拡大発展と充実が図られてまいりました。関係の皆さまに心より感謝申し上げます。 また、専門委員会をはじめとして協会に関する各組織は、新潟県のサッカースポーツの普及発展及び強化育成に努め新潟県のレベル向上につなげてまいりました。今や強豪地域となりました北信越地域において、新潟県は多くのチームが北信越大会を突破し全国へ進みました。各々のカテゴリーで結果を出し、新潟県のサッカーが全国レベルにあることを証明し、サッカースポーツの注目度を飛躍的に高めてまいりました。多くの皆様の情熱と真摯な取り組みが結果として現れたものであります。

ウエイが 3 試合、しかも最後が強敵・サウジアラビアとのアウェイ戦です。しかし、前回のサウジアラビア戦で見せた闘志と集中力を以てすれば必ず結果はついてくるはずと信じています。 F I F A ワールドカップ出場は日本サッカーを発展させるための大きなフアクターですから、引き続き、J F A を挙げ

練習から試合の全てをも盛んで、サッカーとバスケットボールのプロチームを擁する新潟は、日本のスポーツ発展の翼を担っていると言っています。 J リーグは今年、視聴環境の充実など新たな取り組みをスタートさせます。選手の補強や移籍、育成・施設整備などへの投資なども行われ、J クラブの活動も活発化していくでしょう。昨年、15 位と不本意な成績に終わったアルビレックス新潟もユース年代からトップチームに至るまで、プールの魅力から見える地との観点からビーチサッカーが芽生えてきました。既に世界的選手が所属するプロチームが形成され、昨年全国制覇を果たしました。新潟県の魅力を発信する活動に期待が膨らみます。県協会として連携してまいりたいと思います。 現在、県協会は新潟県と緊密に協働しながら 2020 東京オリンピック・パラリンピックに関する事業を遂行中であり、事前キャンプ地の決定を目指しますが、最終目標は、本県からオリンピック出場する選手を輩出することであり、ぜひとも進めてまいりたい課題であります。 (公財) 日本サッカー協会は「J F A サッカー施設整備助成事業」を進めており、既にアルビレックスが認定され整備事業が開始されました。今春の竣工時には多くの皆様の利用に寄与頂ける予定です。引き続き対象事業の選定を進め、新潟県サッカー文化の醸成に資する事業として進めてまいりたいと考えております。 アルビレックス新潟は、昨年のリーグ戦を第 15 位で終え J1 に残留こそしましたが、多くの県民・サポーターが納得できるものではありませんでした。新体制が構築され今シーズンに向けた戦いが始まり、 J1 に昇格したときの県民・サポーターと共に燃えたいと願っています。 今年も新潟県サッカー協会の皆さまと共に、県民の皆さまに勇気と希望をお届けできるような全力を尽くしていきたくと考えています。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。







一般社団法人新潟県サッカー協会  
専務理事 中澤雄一



新年あけましておめでとうございます。昨年中は皆様よりひとかたならぬご支援、ご尽力により、予定された数多くの事業を無事遂行することが出来ました。心より感謝申し上げます。

下越地区では、アルビレックス新潟レディース、JAPANNサッカーカレッジ、また地域の皆さまにご協力いただき、今年度も女子選抜のプレッシャーを減らし、女子サッカーの普及活動を行ってき

の皆さんにご協力いただき、フットサル大会を行い、大変盛り上がりました。下越地区は、女子サッカーに触れる機会が他の地域より充実していると感じますが、普及活動はまだまだ活発に行っていません。サッカーに触れる機会を増やしていきたいと思

年2月に、聖籠町体育館にてU-12年代のフットサルフェスティバルを開催予定です。今後、地域の方々、チームの方々と協力し、より活発に「サッカー好き女子」と出して一つの目標としていた全国大会優勝を達成することができました。これも日頃ご支援、ご協力していただいている皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

私が東京から柏崎へ引越してきた時に、柏崎のきれいな海・砂浜・夕日にとても感動したことを今でも覚えております。しかし、海にほとんど人の姿はな

### 普及活動と今度の取り組みについて

下越地区女子委員長 繁田真名美

### ビーチサッカーのできるまち 柏崎

2014年のマルセロ・メンデス氏がビーチサッカー日本代表の監督に就任し全国各地でビーチサッカークリニクを開催していることを知り、新潟県でクリニクを開催していただくことになりました。そのクリニクに講師として茂恰羅オズが参加し、そのプレ



### 県協会・地区協会 合同会議の報告

新潟県サッカー協会は、各地区サッカー協会との連携・協働を目的に感謝申し上げます。このフェスティバルが初開催されました。このフェスティ

サッカー協会の各代表者（各地区三名）が集まりました。前回の会議では、県協会・各地区協会が

その後は、各地区協会の皆様が各々協会員で負う役割に添い協会の連携の重要性を語り、次回に繋げてい

昨年1月のU-15フットサルを皮切りに、U-18フットサル、ビーチサッカーとして第71回希望郷岩手国体での女子選抜チームおよびサッカー競技総合優勝と数多くの日

今年も「開かれた協会」を目指し、協会諸活動を推進してまいります。皆様一人一人の力を結集し、新潟のスポーツ界をけん引できる組織でありたいと思

今年も「開かれた協会」を目指し、協会諸活動を推進してまいります。皆様一人一人の力を結集し、新潟のスポーツ界をけん引できる組織でありたいと思

課題を共有し解決を図ること。他地区協会の事業遂行を知り参考とし、自地区協会に活かすこと。県協会と全地

その後は、各地区協会の皆様が各々協会員で負う役割に添い協会の連携の重要性を語り、次回に繋げてい





## 僕の目標 ★★★★★★★★

グランセナ新潟FC ジュニア 長谷川 紡

僕には目標があります。まず、右足と左足が使える選手になることです。今年 6 年生になるのに左足が全然使えず左足にボールが来てもすぐにとられたり、右足にもちかえたりしてプレーすることが多いです。なのでこれからは、左足を使う機会を増やして両足が使える選手になり、チームのゲームメーカーになりたいです。次にオフの部分です。オフでは使っているところが汚く、他のチームよりすごく差があります。他にもいろいろな人に迷惑をかけてしまいます。それが勝てるチームと勝てないチームの差だと思つので、オフからしっかり出来るチームにしてチビリンピックの全国大会で優勝したいです。

最後に目標ではないけれど感謝していることがあります。それはチームメート、応援してくれる人たち、そして家族です。チームメートはいつも優しく支えてくれるし、応援してくれる人たちは背中をおしてくれるし、家族はお弁当や送迎をしてくれるからすごく感謝しています。この感謝の気持ちをわすれずにこれからプレーしていき、楽しんでサッカーをやりたいです。

## 今年がんばりたいこと ★★★★★★★★

真砂 402 JSC 3 年 鷲尾 美紅

わたしが今年がんばりたいことは大きく分けて三つあります。

一つ目は、生活面です。家の人や担任の先生の言うことをよく聞いて、早ね早おきをするなどきそく正しい生活を心がけ、また好ききらいをしないでたくさんごはんを食べてかぜをひかないようにしたいです。

二つ目は、サッカーのことです。サッカークラブの代表や監督、コーチの話をよく聞いて一生けん命練習して上手になりたいです。そのためにまずボールリフティングを五十回以上できるようにしたいです。そしてチームのみんなとなかよくしてたくさん試合に勝ちたいです。

三つ目は、勉強です。今年は 4 年生になるので毎日自主べんを四十分することをがんばります。そして苦手な算数のせいせきがよくなるようにがんばります。

この三つの目ひょうをたっせいできるようにがんばりたいです。

## ～夢へのチャレンジ～ ★★★★★★★★

グランセナ新潟FC ガールズ 5 年 菅野 真莉

私は四年生の時に小さななやみでクヨクヨしていました。その時「失敗をおそれずに、何事もチャレンジしなさい。」と背中を押してくれたのは父でした。

小さなころから澤選手にあこがれていて、サッカーを始めた今、もっと早く始めれば良かったと後悔しています。そんな時、父から貰った澤選手の本に「夢は絶対に逃げない、夢は見るものではなく叶えるもの。」という言葉に出会いました。

今、私の夢は、澤選手のようになでしこ JAPAN で活躍できる選手になりたいことと、海外のチームでプレーをしてみたいことです。そのためには日々の練習を大切に、自分の判断で行動できること。仲間と切磋琢磨し、強いチームづくりを目指すこと。勉強もしっかりやり、英語を話せるようになることです。

サッカーが出来る喜びと、感謝の気持ちを忘れることなく、夢に向かってチャレンジしていきます。

## 将来の夢 ★★★★★★★★

新潟市立南浜中学校 有田 光来

僕の夢はプロサッカー選手になり、世界で活躍することだ。

僕には、プロサッカー選手の兄達がいて、小さいときから兄達の試合を見に行く機会がたくさんあり、自然とサッカーに興味を沸いた。兄達とは、毎日サッカーをして遊んでいた。サッカーをしているときの兄はすごくいい顔をしていた。そんな兄達にあこがれて本気でサッカーに打ち込むようになった。

一番上の兄が全国高校サッカー選手権大会に出場したとき、「自分も高校生になったら選手権に出たい」と強く思った。中学校では成長することはできたけど結果がついてこず、悔し涙を流した。その悔しさをバネに、高校では全国高校サッカー選手権大会に必ず出場して、全国優勝することで、夢の実現に向けて一歩でも近づきたい。

夢を実現し、プロサッカー選手になったら、かつての僕のような子供にも、サッカーをあまり知らない子供にも、夢や希望を与えられるような選手になる。僕の夢は昔から変わらない。必ず実現するという強い決意をもってこれまでに以上にサッカーに励みたいと思う。

# ぼくの・わたしの

# 夢

## ぼくの夢 ★★★★★★★★

吉田サッカークラブ 久住 晴人

僕の将来の夢は、得意なスピードあるドリブル突破を活かして、日本代表や海外で活躍できるサッカー選手になることです。そうなるため、今、自分ができていることを考えました。

1 つ目は、コーチからのアドバイスをしっかり聞くことです。

2 つ目は、人のプレーを見て自分に無いところを取り入れていくことです。

3 つ目は、自分や味方のプレーが上手いかなくても、あきらめずにチャレンジを続けることです。

4 つ目は、チームが苦しい状況でも自分から声を出し、チームの雰囲気の良い方向に変えられる選手になることです。

この中で 3 つ目と 4 つ目は、今まで僕がなかなかできなかったことです。今までの僕は、自分や味方のプレーが上手いかなないと怒ってしまうことが多くありました。これからはそんな自分を変えていきたいです。

今年は、チビリンピック北信越大会や全少大会があります。仲間と協力して全国大会への切符をぜったいつかみたいです。

## 将来の夢 ★★★★★★★★

エポルブジュニアユース U15 主将 田中 想人

僕の今の夢は「高校サッカーで全国大会出場」と「国体メンバーに選ばれる」ことです。高校サッカーでは体格やスピードが全然違います。今の僕は、身体も弱くてスピードもありません。判断も悪く、監督・コーチから指導を受けることが多いです。今年は、チームで初の全国大会に出場した経験から、全国の舞台へは、簡単に出場できることではないと分かりました。

また、国体メンバーになり、本選に出場することも、まだまだ自分の中で、とても難しいと感じています。国体候補として参加した大会では自分の力不足を感じ、新潟の代表として何もできない時間も多くありました。

この 2 つの夢を叶える為には、高校へ進学し、より厳しい環境で自分自身を鍛えていきたいと思つています。また、サッカーも大切ですが、学校の勉強も真剣に取り組み、充実した学校生活を送ってきたいです。

## 夢はなでしこ ★★★★★★★★

アルビレックス新潟レディース U-15 1 年 相馬 帆花

私の将来の夢は、なでしこジャパンの一員としてプレーすることです。そして、その夢に少しでも近づけるように今年目標を立てました。

5 月から始まる県大会、北信越大会で優勝し全国大会に出場することです。そのために、常に試合を意識して日々のトレーニングを行い、県大会までの 4 ヶ月を有効的に使いたいです。また、ナショナルトレセンに参加することも目標としています。私は一度バックアップでとても悔しい思いをしました。その時に、小学生の頃のコーチに「ただ頑張ってもダメな時もある。何をどう頑張るか考えていこう。その悔しさを忘れるくらい成長して今の自分を見返してやれ」という、とても大切な言葉をもらいました。今まで、何度もこの言葉に励まされてきました。そして、いつも私を支えてくれる家族、指導者や恵まれた練習環境があることに感謝して、夢を実現できるようにこれからも大好きなサッカーを続けていきたいです。







# またも神戸の壁！

## 第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会

十二月二十五日(日)に行われた第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会決勝戦に進出したアルビレックス新潟レディースは、前回に引き続きINAC神戸レオネッサと決勝戦を戦いましたが、延長戦に持ち込んだものの、PK戦の末惜しくも敗退しました。

新潟は、前半怒涛の攻撃を見せるも決定機を活かせず終了。後半は勢いを増す神戸に対し豊富な運動量と連携した守りで凌ぎ、延長戦も両チームスコアレスのままPK戦となりました。PK戦もサドネスまで続く拮抗した戦いとなりましたが、相手GKの活躍の前に惜しくも敗れ、2年続けての準優勝となりました。過去、4度の決勝戦はいずれもINAC神戸との戦いに敗れており悔しい結末であります。昨季のリーグ戦は1勝1敗であり、決して苦手ではないと思うのですが、優勝に向けて何か課題があるのかもしれない。

しかし、2年連続の準優勝は見事であり、特に今大会で見せた新潟らしい献身的なプレイは、次回大会に希望をつなぐ見事な戦いでありました。

新潟県に女子サッカー最高峰のリーグがあり、チームが存在することは誇りであり、多くの女子選手の憧れです。大いなる期待と希望を胸に次回大会こそ優勝し、女子サッカー界の頂点に立つてほしいと願います。



© ALBIREX NIIGATA



© ALBIREX NIIGATA

また、下部リーグには次のトップを目指すチームがあります。今大会においても地域代表として2チームが参戦しました。惜しくも希望はかないませんが、次回大会では是非とも新潟から旋風を巻き起こしていただきたいものです。

県協会は、今大会2回戦を、新潟市五十公野公園陸上競技場を会場として初めて主催いたしました。頂点を目指す一発勝負のシビアな戦いを提供するに、施設・運営者・女子サッカーに対する広い認知が必要です。多くの皆様のご支援で無事に開催できましたことに感謝申し上げます。次回大会におきましても主管いたします。ご期待ください。

### 第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 試合結果

2回戦	アルビレックス新潟レディース	4-1	オルカ鴨川 (関東/千葉)
3回戦	アルビレックス新潟レディース	1-0	ちふれASエルファン埼玉 (2部)
準々決勝	アルビレックス新潟レディース	2-0	AC長野パルセイロ・レディース (1部)
準決勝	アルビレックス新潟レディース	1-0	日テレ・ベレーザ (1部)
決勝	アルビレックス新潟レディース	0-0	INAC神戸レオネッサ (1部)

(PK 4-5)

### 新潟県勢試合結果

1回戦	JAPANサッカーカレッジ	0-3	東洋大学 (関東)
1回戦	新潟医療福祉大学	0-1	大商学園高校 (関西)

### 希望郷いわて国体 優勝祝賀会の報告

十一月二十五日(金)新潟県映ホテル(新潟市)にて、自治体・国体関係者・サッカー協会関係者及び選手等約100名が出席し、「第71回国民体育大会サッカー競技総合優勝祝賀会」を開催いたしました。

本国体では、男女総合第1位となり、種別では女子第1位、成年男子第4位、少年男子第5位でありました。獲得ポイント120ポイントは競技別全国第1位であり、新潟県の国体総合17位に大きく寄与いたしました。



式典においては、来賓の祝辞に次ぎ、各種別の選手・監督に表彰状が授与されました。選手の誇らしくも緊張した姿が大変印象的であり、合間に見せる選手間の掛け合いがチームの結束の強さを見せておりました。表彰後、選手を代表し女子選抜の左山桃子選手の謝辞があり式典を終了いたしました。



多くの皆様から国体出場チームに激励と慰労の言葉を頂戴し、選手には今後のますますの活躍に期待が寄せられました。同時に、新潟県サッカー協会には、次回国体に向けた更なる強化と将来に向け継続した普及・育成に向けた要請をいただきました。

【後報】国体女子新潟選抜チームは、十二月十三日新潟日報社より「新潟日報スポーツ賞」を授賞されました。



### 第25回全日本高校女子サッカー選手権大会 試合結果

12月30日(金) 一回戦 13:45~  
三木総合防災公園

開志学園 JSC 1 (0-4) 5 藤枝順心

全日本高校女子サッカー選手権大会  
開志学園 JSC 高等部

### 第95回全国高校サッカー選手権大会 試合結果

12月31日(土) 一回戦 14:10~  
浦和駒場スタジアム

帝京長岡 1 (0-0) 1 徳島市立  
4PK 5

全国高校サッカー選手権大会  
帝京長岡高等学校